

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	17HP2005	事業期間	平成29(2017)年度～ 令和3(2021)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
木材学分野における国際的基幹雑誌を 目指す取り組み		一般社団法人 日本木材学会	会長・船田 良
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of Wood Science			JWS

【令和元(2019)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>Journal of Wood Science の国際情報発信に向けて、完全オープンアクセス化及びインパクトファクター2.0の達成を主要な目標とした取組である。平成31年1月から完全オープンアクセス化は達成されたが、この効果については現時点では明確には現れていないため、今後の経過を見守る必要がある。インパクトファクターについては応募時点での1.268から平成30年には1.523まで上昇しているが、目標の2.0までには、さらなる取組が必要と思われる。論文投稿数が応募時の134件に対して110件と減少している点を考えると、質の向上に繋げるためのさらなる工夫と努力が望まれる。</p>	